

「まつとうな政治を」

川崎駅前 R 差別に抗う市民集う

7月の参院選を機に急拡大する排外主義に抗い、差別を許さない意思を示

うと、市民有志は18日、JR川崎駅前でスタンディング行動に取り組んだ。川崎市長選のさなかもあり、差別主義者の候補者に否を突きつけ、差別をなくすための政治・行政を市民の責任でつくり上げようと呼びかけた。

アーバスト」を広めた悪影響や、出入国在留管理庁が強

行する人権無視の「不法滞在者ゼロプラン」が差別を煽っていることへの批判が相次いだ。自

然

スランディングが終わり

した。

（石橋 学）

約50人が参加し、「デマや差別のないまつとうな政治を求めます」、「外国人が増えて治安悪化はつそ」といったプラカードでアピール。リレートークでは、参院選で極右政党の参政党が

差別・排外主義「日本人が

飛ばした高橋史帆

意を示した市民ら

かけた頃、市長選に立候補しているレイシストの富部龍彦氏(46)が川崎駅近くで街頭演説を始めたため、参加者の一部は抗議に走った。「レイシストは帰れ」などと声を上げ、差別を拒んだ。

（石橋 学）



さんは「移民反対のデモなど先進国がやることではない。排外主義者の攻撃的な

行動や差別を煽って票を得

ようとする政治が治安を悪

化させているのであって、

必要なのは差別を犯罪とし

て取り締まる法律だ」と訴

えた。精神障害者である高

橋さんは「外国人を犯罪者

まさにファシズムだ。攻撃

は障害者やLGBTなどに

も広がっており、放置され

ばあなたが排除されるかも

しれない」と語りかけた。

スタンディングが終わり

した。

（石橋 学）

かけた頃、市長選に立候補

しているレイシストの富部

龍彦氏(46)が川崎駅近くで

街頭演説を始めたため、参

加者の一部は抗議に走っ

た。「レイシストは帰れ」

などと声を上げ、差別を拒

んだ。

（石橋 学）